

第6回 地震・地震動検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年 10月 26日（木） 17：30～18：30

2. 開催場所：航空会館 204会議室

3. 出席者：(順不同, 敬称略)

委員：翠川主査（東京工業大学）、瀨瀨副主査（東京大学地震研究所）、久野幹事・梅木（中部電力）、佐伯（北海道電力）、樋口（東北電力）、高橋（東京電力）、小笹（北陸電力）、伏見（関西電力）、阿比留（中国電力）、高橋（四国電力）、園（九州電力）、仲田（電源開発）、阿部（日本原子力発電）、武村（鹿島建設）、壇（清水建設）、佐藤（電中研）（計17名）

オブザーバ：敦賀（東電）、岡崎（関西電力）、生玉（日本原子力発電）、田中（原子力安全基盤機構）、菊地（東電設計）（計5名）

事務局：荒木（日本電気協会）（計1名）

4. 配布資料

資料 No. 6 - 1 第5回 地震・地震動検討会議事録（案）
資料 No. 6 - 2 - 1 JEAG4601 基準地震動策定・地質調査編（案）
資料 No. 6 - 2 - 2 耐震設計分科会でのコメント対応案

5. 議事

(1) 代理出席者及び前回議事録（案）の確認

本日は代理出席なく、委員17名の全員出席を事務局より報告した。また、事務局より前回議事録（案）について紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

(2) 基準地震動策定・地質調査編（案）のうち基準地震動策定（案）について

資料 No. 6 - 2 - 1, 2により、基準地震動策定（案）に関する耐震設計分科会でのコメント対応案について説明が行われ審議した。本日のコメントをふまえて一部修正し、耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

・1.2.3.2 経験的な方法の解説で、記述を以下のとおり見直すこととした。

「地震基盤の地震動のみを抜き出し、別途地盤構造から理論的に求めた増幅特性を用いて解放基盤表面の地震動を評価することは好ましくない。そのような場合には、断層モデルを用いた方法などにより地震基盤以深の情報も考慮したうえで、地震基盤の地震動を評価することが望ましい。」

→「地震基盤の地震動のみを抜き出し、別途地盤構造から理論的に求めた増幅特性を用いて解放基盤表面の地震動を評価する場合には、十分な検討が必要である。」

- ・1.2.3.3 断層モデルを用いた方法の解説(2)地震動評価方法で、記述を以下のとおり見直すこととした。

「結果の妥当性を確認することを目的として、ハイブリッド法による地震動評価も合わせて実施する」

→「結果の妥当性を検討することを目的として――」

以 上